



第 7 号
平成 16 年
6 月発行

「望洋荘」でのボランティア活動のお願い

社会福祉法人 りんさく福祉会

理事長 須田 混

「望洋荘」でのボランティア活動に、ご参加いただいております皆様には感謝申し上げます。利用者の皆さんも「ボランティア」の方々のレクリエーション等の行事を心から楽しみにしております。特に落語・踊り・カラオケや草花の手入れ、花壇づくりなどが大変に好評です。今後とも引き続きのご協力をお願いいたします。ただ、無償のボランティアでありますので、心苦しく感じておりますことも事実であります。が、皆様のご協力あつての「望洋荘」でございますので、ご理解の程をお願いいたします。

さて、「望洋荘」もオープンして6ヶ月が経過いたしました。その時、その時のご好意に甘えてのレクリエーション等であり、あまり計画的ではなかったのが現状であります。この反省のもと、計画性・継続性のあるボランティア活動を、お願いできたらと考えておるところです。そのために「ボランティアの会」を充足させて頂き、活動の充実がお願いできたらと思っております。

この「ボランティアの会」の発足にあたり、次のような方々の積極的なご参加を是非お願いしたいものと思っております。

- 施設と地域の架け橋になっていただける方
- 施設の運営のマンネリ化防止のため、建設的な提言等が戴ける方
- 「高齢者介護」に理解のある方
- 月一回等の活動でも、事前にご連絡いただける方
- 活動内容によっては施設のスタッフと一緒に活動出来る方
- ご負担を考え、遠隔地の方より近隣の方

また、ボランティア活動の内容については次の事を考えております。

*特技や趣味の披露等

- 利用者に特技等を披露して下さる方またはグループ
- 利用者と一緒にカラオケ等に興じて下さる方またはグループ

- 「お絵描き」「習字」「竹細工」「ガーデニング」「庭の手入れ」等々利用者と一緒に活動して下さる方またはグループ

*利用者との相手等

- 利用者のはなし相手
- 利用者の介護
- 利用者と一緒に、屋上やベランダ、庭園の散歩の相手
- 幼稚園児や小学生とのふれ合いのお世話等
- 幼稚園児や小学生と利用者のふれ合いの為に引率並びにお世話いただける方

以上、誠に勝手な一面もありましようが、何卒ご協力の程をお願い申し上げます。当施設には、ボランティア担当の職員がおりますので、時間・内容等についてご相談いただければ幸いです。宜しくお願いいたします。

4月23日に行われたお誕生会

『江名フラダンス・サークル』のみなさんがボランティアで来荘くださり、フラダンスをご披露いただきました。楽しいひと時をありがとうございました。



人生の根本とは

須田 滉

医療に三十年余も携わり、往診で患者さんの自宅を訪れると、思ひもかけないものに出くわす。

家宝としての素晴らしい骨董品とか、書画等にお目にかかるものです。とある寝たきりの高齢者のお宅にては、伺う度に長押の上に掲げられている扁額に、じつとこちらが眺められているような気がしていたのです。厚い埃をかぶり、私の方に目をむいている、その額を眺めると「人生第一之資本」と書かれてある。生と死について書いてあるようだが、なにせ、漢文調であり、文字も流麗な墨痕で判読しがたい。しかし、何とか世に知らしめてくれと訴えているようなので、早速、古書研究会の方々に文章の解説をお願いした。それを小生流に意訳を試みたものが次の文章である。六十年前のまさに戦前に書かれたものであるが、旧家の主の書き残した家訓が、今日の世にも生き続けることに違和感がないと思われる。皆様の今後の生き方の一助になれば幸甚であります。

吐く息は吸う息を待たない。竹頭の露、風前の燈し火に似て、人の寿命の尽きなんとする時と何の変わりがあるう。生ける衆生、すべからく逃れがたい定めが死であり、人生無常と言われる所以だ。しかし、この当たり前のことを省みず、自分に関与していることではないとばかり榮達を追い求めて、お迎えの使者が忍び寄るのを失念している。人生の最大の問題はどのように死を迎えるかにあるう。人は克く死せんがために生き、良く生きんがために死すのである。生の中に死という観念を認識し、その死を怖るるものは命をまっとうすることが出来、その死を心良く享受出来るものは、仏法の世界に迎えられる。真の意味で生涯の榮光を心静かに保たせ、無限の力を与えてくれるものは死である。

であるから、財や食を貪る者は餓鬼道に陥るし、又、名声を追い求める者の末路は修羅場となるのだ。貪欲に生きる者の行き着く先は畜生道だ。恨みや怒りの炎を燃やし続ければ地獄と化すばかりだ。ただだんに寿命のみを生き永らえるのは人として儂い生き方であり、努力せず、快樂のみを追求すれば空しさだけが残ることになるであろう。これらは、全て墮落の死であり、凡夫の死と言わずして何と言おう。

道に死し、義に死し、善に死し、そして仏に帰依して死す者は、向上二途の人生の歩みの証しであり聖人の死と表現するに相応しい。人はこの世に生まれ、平々凡々と生き永らえるが、若し死を賭して目的に向かつて生きるなら、聖人に近づくことは可能であろう。このように、死を考えることは、人生の根源といえよう。

結局のところ、天からも見捨てられ、艱難に遭遇しても、身命を期する心を持ち続けて生きることこそが数多の仏法の端的に表現し、人間に無限の寿命を与えてくれる本化大聖の仏の声といつても過言ではなからう。身命を悟ることは貴い事であり、且つ偉大なことだ。薬王観音や文殊弥勒ですら到達できない、至福の境地といえる。我々は運命を押しつけて初めて、この誠の定めに遭遇するのだ。死を賭して真に生きることを目的にせよ。人生はその一言で言い尽せるのだ。

『いわき市医師会報への寄稿文より』

今月の言葉その⑥ (倫理研究所編標語集から)

老人を

大切に
する家は
榮える

家の建築に譬えてみよう。どんなに家屋が豪華でも基礎工事に手抜きがあれば、やがて必ず崩壊する。精神の基礎、いのちの源流、それが祖父母であり、父母なのだ。

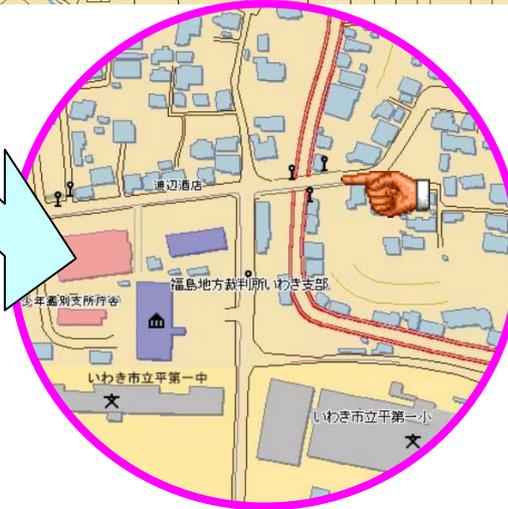
今は昔 第4話

ゆうれい橋の由来

旧平市の六間門と八幡小路の間に架かっている橋。その昔（八十年位前）は木で出来ていた。近くに道を挟んで二つの小学校があった。平一小は男の子、平二小は女の子の学校だった。学校の先生は男の子と遊んではいけないとは言わなかったが、橋の上でゆら・ゆら揺らして女の子をいじめていた。橋の下の道路は平窪へ行く道で、人が通るのだから上から水や物を投げたはいけないともよく言われたね。荷車が通ったり人が通ったりするとゆら・ゆら揺れるので「ゆれ橋」と言われてたのが「ゆうれい橋」となったてしまっただけ。けっして幽霊がたわけではないんだよ。アハハ・・・。

（本当の名称は高麗橋です）

『望洋荘 豊間通り5丁目ー3の入居者大槻タマさんより』



『さこ みちよ』さん新曲『食卓』ご紹介



三月にボランティアで来荘された、歌手『さこ みちよ』さんが五月二十六日に新曲『食卓』を発売致しましたのでご紹介致します。

この曲は、『すべての人が食卓のぬくもりを近頃忘れていくようです。だから今、思い出してほしい。』と言う想いをこめた素晴らしい曲です。

家族のいる「食卓」、家族が揃つての食卓というイメージの中には、日本人が忘れてしまった何かがあるかもしれません。

家族揃つての挨拶や笑顔や会話、お互いを思う気持ちなど。このあたりまえの日常がいかに大切な時間であったか。

家族で食事をする事から、壊れている家族が再生していくかも知れません。

大切な、思い出の、楽しかった、悲しかった食卓の風景と、でもいつもみんないたという、家族の大切さが経験としてあれば、切れたり、傷ついたり、といった愛情の欠落した事件は起きないかも知れません。

食卓は愛情のテーブルだったはずです。

『ご意見箱』を設置いたしました。

開所から半年が過ぎました。試行錯誤しながら皆一生懸命介護にあたってますが、外から見た私達の姿を評価して下さい。良い事も悪い事もです。気付いた事、直して欲しい事、嬉しかった事、悲しかった事、何でも結構です。

若い人へのアドバイスです。ご意見をお待ちしています。

介護老人福祉施設 『望洋荘』
職員紹介⑦&「コメント集」



介護士 山口 美千代

新緑が美しい季節になりました。私が望洋荘で働き始め半年が過ぎました。私にとって介護の仕事は初めての経験で毎日太平洋の壮大な海を眺めながら日々勉強させて頂いております。

最近、利用者の方々に名前を覚えて頂けるようになり私にとってとても嬉しい出来事です。

少しでも利用者の方々が日々過ごしやすい場所であるよう努力させて頂きたいと思っております。



介護士 村瀬 智宏

十二月から介護という仕事に携わりもう少しで半年が経過します。最初は仕事を覚える事で精一杯でした。

これからも利用者の方々が元気で楽しく笑顔の絶えないような心のこもった介護が出来るよう、日々先輩方から学び成長して行きたいと思えます。まだまだ未熟ですが、皆様よりしくお願いします。



介護士 矢野 初枝

望洋荘が開所してから六ヶ月を迎えました。一日・一日が本当に早く感じます。八十名

いる利用者の方達の顔・名前をやっと覚える事が出来る様になりました。利用者の方々が個々に家庭にいるような環境で生活が出来る様に上手にコミュニケーションを取り介護を受ける人達の身体特性や気持ちを理解し、介護技術だけでなく利用者の方々に對して、思いやりの介護が出来れば良いなと思っています。

最後に

無理せず楽せずあてにせず
無理に自分の望みを通すな
体も無理するな、また

楽しみたい楽しみたいと思うな
そして他人をあてにするな
常に不満が残るから
あてにはいけない。

をモットーにして行きたいと思えます。

介護保険「ロメモ」⑦

通所リハビリテーション（デイケア）

理学療法士や作業療法士などが、介護老人保健施設、病院、診療所などにおいて、医師の指示に基づいて出来る限り自立した日常生活をおくるためのリハビリテーション（機能訓練）などを行うサービスです。

通所介護（デイサービス）

身体が弱いとか痴呆のある高齢者などが昼間だけ通って利用するサービス。入浴、食事、日常生活動作、レクリエーションなどをを行い、本人の心と身体のリフレッシュと家族の介護負担の軽減などを目的としたサービスです。

『望洋荘』からのお願い

入居されているご家族の皆様へこれから**食中毒が発生する時季**になりました。**食べ物の持ち込みの自粛**をお願い致します

編集後記

『望洋荘』便り

平成十六年六月一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255